

中の人などいない

作・森川成美
絵・川野隆司



ゆるゆるキャラクターコンテスト会場

わたしは、そう黒々と印字された立て看板をわき目に、
ごったがえす体育館に入っていた。

地方都市の体育館には、緑色のシートが敷きつめられ、
折りたたみですが並べられている。

スタッフと背中書かれたジャンパーを着た男女が、忙
しそうに機材の設営をしている。キー局のロゴがついた腕
章をつけた人もいる。

最前列の真ん中あたりには、審査員席という紙が背に貼
られた空席がずらりと並んでいる。きつと、開始直前に入
場してくるのだろう。

そしてその人たちが、わたしの運命を決めることになる。

ここに来るしか、もう、わたしには生きていくすべがな
かったのだ。わたしはせっぱつまっていた。

食料も尽きた。

もう、働くしかないのだ。

それがどんなに大変なことであっても。

わたしは調べた。調べに調べた。

どう考えても、この仕事しかない。

このコンテストで、優勝して、賞金をもらうのだ。

緊張のあまり、昨晩は寝ていない。人と話さなければな
らない、というストレスのせいでもある。

「あ、着ちゃったんですか。ちよつと早すぎたよね。待機
してるの大変だから、もつとあとでよかったのに」

人のよさそうな丸顔の女性が、話しかけてきた。会場整